



令和 4 年 9 月 5 日
さんいく保育園有明
看護師 市川

まだまだ暑い日が続きますが朝晩に少しずつ涼しさを感じるようになりました。夏は楽しく過ごせましたか？夏を元気いっぱい楽しんだ子どもたちには夏の疲れが出やすい時期でもありますので体調管理に十分注意し、残暑も乗り切っていきましょう。

防災週間（8月30日～9月5日）

9月1日は防災の日、9月9日は救急の日です。もしもの時に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯などを用意しておきましょう。

また、お子さまにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。

おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。

- ・子どもの手の届く場所に置いてはいけない物
（薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など）
- ・踏み台になる物はベランダに置かない
- ・コンセントなどをいたずらできないようにする
- ・遊び食べに注意する（食べ物が喉に詰まることがある）
- ・浴室には子ども1人で勝手に入れないよう工夫する

子どもの事故に関しまして、消費者庁発行の「子供の事故防止ハンドブック」というものがあり、年齢・月齢に応じた生じやすい事故と注意ポイントなどが記載されております。無料で読むことができますので、是非一度ご覧ください。



～体調不良に関して～

今夏は当園でも手足口病やヘルパンギーナといった代表的な夏の感染症が3年ぶりに流行致しました。また、世間ではコロナウイルスも収まることを知らず第7波が続いている状況でもあります。これからの季節はインフルエンザや胃腸炎など冬の感染症が流行し始める時期に差し掛かります。

保育園は集団生活の場でもありますので感染症予防・対策にご協力いただけると幸いです。もう1度園内でのルールをご確認ください。

- ・発熱の際には必ず受診をして医師の判断を仰いでください。（登園の目安を確認してください）
- ・体調が悪い場合は早めの休養をお願いします。
- ・体調不良で欠席される場合はお子様の体調確認や園内での感染症状況等もお伝えしたいので必ずお電話でご連絡ください。
- ・保護者の方、同居家族が感染症に罹患した場合は保育園にもご連絡下さい。

足に合った靴の選び方

子どもの足は常に発達していき、大人の足になるには16～18歳ごろといわれています。特に成長が著しい幼児期に足に合った靴を履かないと足が変形しやすくなり、そこから姿勢が悪くなったり、足の機能が不完全になったりと多くの弊害が生じます。

こどもの足はすぐに大きくなるため、大きめサイズを購入される方も多いとは思いますが、子どもの1サイズは大人だと3～4サイズほどの違いがあったりします。3～4か月に1度くらいは靴を新調するといいかもかもしれません。（お店によっては足のサイズを計測し、適切なサイズを選んでくださるお店もあります）

おすすめの選び方

- 足の甲の高さを調節できるもの
（マジックテープや紐で止められるもの）
- つま先が広く厚みのあるもの
- つま先が少し反りあがっているもの
- かかと部をしっかり支えるもの
- 足が曲がる位置で靴も曲がること
- 適度に弾力があるもの